

代表質疑をしました(6月16日) コロナ対策との冠をつけての 予算措置の妥当性を問う



予算の中には、コロナ感染症対応だと説明があるのは一部でしかなく、かつ原油・物価高騰はロシアによるウクライナ軍事侵攻や急激な円安によるものであった。過去にもコロナ対策予算の説明の中に、便乗型と言われても仕方のないICT導入モデル事業などがあり、政府の意図が別に働いているからとしか思えないが、見解と過去の予算の検証を求めました。さらに家計を温めるための消費増税についても質しました。

各自自治体の判断で地域の実情に応じ、生活者や事業者の負担軽減のための施策への活用が認められており、各般の施策の財源として活用した。既に完了した事業については効果検証を図り、公表できるように準備を進めている。消費増税のあり方については、国全体で議論されるべきとの答弁でした。

津波浸水想定による指定避難所等の対応方針

県の新たな津波浸水想定公表により、新たに8か所の指定避難所が浸水範囲に含まれるとしたほか、複数の保育所が浸水エリアに位置することがわかったが、対応方針について質し、施設管理者や地域の方々との具体的な避難の方法について検討を進めるよう説明している。認可保育施設だけでも少なくとも16か所が区域内に所在しており精査を進めている。保育施設では、迅速な避難が困難な乳幼児を受け入れていることから、浸水する深さに応じた避難訓練の実施を促すとともに、建

替え等を検討する事業者の方々に対しては、必要な助言を行って行きたいと答えました。

女性の人生設計や意識を踏まえた少子化対策

2020年度内閣府男女共同参画白書では、積極的に結婚したいと思わないと答えた理由で、「仕事・家庭・育児・介護を背負うことになるから」の回答は、未婚女性では4割弱から5割ほどだった。少子化を考える際、子どもを産む主体である「女性たち自身の考え、どういう人生設計をしたいか、何を望んでいるか」という視点も重要と問い、女性が自立した主体として自らの意思と責任のもと、生き方やキャリアを選択し、実現できる環境づくりが一層求められた。今後も、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に向け、男女共同参画の推進に係る各般の施策に引き続き取り組む。少子化が進む中、働く場の創出、孤立化の防止など、幅広い取り組みが必要であり、全庁的な取り組みを分かりやすく紹介するホームページを作成するなど、多様な取り組みを総合的に進めることで、「子育てしたくなるまち、仙台」の実現を図ると答弁しました。

制服の選択制

中学校などの制服選択制について、本市でも2桁に上る複数校が導入しており、ジェンダーレスの水着についても導入されているが、見解を問い、個別の事

情に応じた服装等への配慮を行っている。本市における制服選択制の導入は、年々増加しており、引き続き、校長会等を通じて、情報提供に努めていきたい。教職員や保護者、地域の大人が多様性を尊重し、子どもの心情や状況等を踏まえながら、きめ細かに対応していくことができる環境づくりは重要であると認識していると答えました。

「杜の都」の緑行政を支える職員の技術継承と市民協働の取り組み

緑化行政の維持管理業務が直営で行われていた頃は、先輩から将来を見据えた奥の深い造園の技術指導、技の伝授があり、後輩への技術の継承をして、杜の都仙台的緑の維持育成が行われていたが、受け止めと技術継承のための方策および市民協働での取り組みを聞きました。青葉通と定禅寺通について樹木の健全度を確認する職員が点検をしている。必要があれば樹木医が診断をし、計画的に剪定している。これらの内容を充実させるとともに、これまでの街路樹管理の取り組みを再認識しながら、職員が高い意欲と誇りを持って仕事に臨めるよう、技術職員の育成を進め、今後とも市民や事業者とともに、次世代へと続く百年の杜づくりを推進するとの答弁でした。



ひぐちのりこ 市議会ニュースレター あったかトーク

第41号 2022年夏号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子
1959年仙台市生まれ 管理栄養士 保育士
社民フォーラム市議団 幹事長
●健康福祉常任委員会 委員長
●子育て環境充実調査特別委員会 副委員長
●議会運営委員

「物価高・コロナ対策」など15議案を審査

2022年第2回定例会市議会は6月9日から24日まで開かれ、一般会計補正予算案など計15議案の審査が行われました。

一般会計補正予算案で、新型コロナウイルス感染症対策関連で、総額16,384百万円(補正15,395百万円、追加補正989百万円)が計上されました。4回目のワクチン接種費の追加の他、生活困窮者自立支援事業費や自宅療養者支援事業費が提案されました。



また、原料価格の高騰対策として家庭ごみ等指定袋の製造経費、宅地擁壁の安全対策工事に係る助成経費の追加、3月16日の福島県沖地震に起因する、博物館、サンブラザ橋りょう等土木施設の災害復旧費、損壊した家屋の解体・撤去費などが計上されました。

住民税非課税世帯への臨時特別交付金など

5月26日付けで専決処分となった補正予算は、国の「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合対策」に基づく住民税非課税世帯への臨時特別交付金(1世帯当たり10万円給付)および子育て世帯生活支援特別交付金(児童1人5万円給付)、計45億9,500万円で、その承認が求められました。

また、追加の補正予算案として、コロナ禍における中小企業事業者への金融支援策、商店街等消費喚起策等の他、生活困窮者自立支援事業費、路上生活者等支援事業費が盛り込まれました。さらに原油・物価高対策として各種福祉施設、保育施設、学校給食費の食の材料費への助成等の他、バス、タクシーへの公共交通運行継続奨励金、市立高校のICT端末整備費等が計上されました。

市立病院における非紹介患者の初診加算料改正

条例改正案では、六丁の目元町地区計画の区域内の建築物に関する制限を定める件、および同地区隣接の工業専用地域の緑地面積率を緩和するためのものが提案されました。また、消費税の引き上げ

や物価の急騰に対応するため、仙台市議会議員、仙台市長の選挙における選挙運動用自動車の使用費、ピラ、ポスター作成費の公費負担限度額の改定案、市立病院における非紹介患者の初診加算料(一般科目で5,500円が7,700円など)等の改定案なども上程され、これらの議案はすべて全会一致で可決成立しました。

「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律の改正を求める件」が意見書として採択されました。



旧市町村編入時に引き継いだ文書の閲覧

市議会ひぐちコラム

毎年6月は、世界各地で「プライド月間」として多様なセクシュアリティを称える様々なイベントが行われており、仙台でも6月12日に「にじいろパレード2022」が開催されました。東北地方議員を中心としたアライ議員ネットワークでも、岩手でのパレード参加や意見交換および研修を3年ほど前から継続して行っています。東北地方でのパートナーシップ制度導入は青森県に次いで、秋田県が

今年度からスタート。秋田では人権尊重の観点もあり、導入されています。



※アライ("Ally" 性的マイノリティのことを理解し協力・支援する人たち)

「市議10年以上となりました」

全国市議会議員会から議員在職10年以上で一般表彰され、6月9日に行われた伝達式で表彰状とバッチをいただきました。また7月4日に行われた仙台市の市制施行133周年記念式では、仙台市議会議員として10年以上の市政功労者として表彰されました。これからも気を引き締めて数々の任務に取り組みます。



ひぐちのりこ事務所
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172

ホームページ <http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>
ひぐちブログ <http://nohiguchi.jugem.jp/>
twitter アカウント名 #nohiguchi
facebook ページ <http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



●味の素 鶴山公園 1 県方面
●七十七銀行 中江→
石井屋 ●丸信精肉店
二町北四番丁 ●河北仙飯
ひぐちのりこ事務所 仙台駅前
上杉山通小学校 上杉山通小学校前

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ社王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

4月20日 福島県沖地震に関する専決処分による補正予算

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震では道路や公園、ため池などの農業施設をはじめ、公共施設も大きな被害をうけました。その復旧予算、またコロナで業績が低下し、なおかつ福島県沖地震の被害にあった宿泊業者に対する支援金についても説明がありました。

一般の住宅でも一部損壊などの被害が多発しました。被災住宅の応急修理制度についての説明もありました。また宿泊にかかる施設、設備だけでなく、一般の事業者も大きな

ダメージがあったところが少なくありません。広く支援を国にも求めるとともに、必要な人に届く周知も求めました。

予算措置について、いち早い対応が必要だと臨時議会の開催は行わず、専決処分(本来、議会を経なければならぬ事柄について、首長が議会の議決・決定の前に自ら処理すること)となりましたが、議会での論議を行わないことが頻繁とならないよう求めています。これら補正予算については、第2回定例会で承認されました。

4月26日 「にんしんSOS仙台の現場から」 仙台市議会研修会

仙台市議会みやぎ女性議員のついでメンバーの呼びかけにより、仙台市議25名をはじめ行政職員を含む47名の参加で、NPO法人キミノトナリ代表理事の方を講師に研修会が行われました。思いがけない妊娠をした女性の相談および支援の実態や、子どものうちから包括的な性教育をすることによって、予期せぬ妊娠の確率が著しく低下することなどが話されました。

講演後の意見交換では、主に男性に対する啓発や、教育現場や家庭での取り組み、必要な方々に届くための工夫などがあり、性差別や性暴力を見た際に傍観することなく、止める行動をする人になること(アクティブバイスタンダー)の大切さが強調されました。



5月8日 仙台国際 ハーフマラソン



3年ぶりに、仙台国際ハーフマラソンが開催されました。9時45分、車椅子マラソンが仙台市陸上競技場からのスタートを皮切りに、10時05分にはエリートの部・日本陸連登録競技者の部、10時15分には一般の部がスタートしました。今年の開催は感染症対策として、参加者を従来の3分の1ほどの4,000人と縮小し、関連イベントは中止となりましたが、久しぶりの開催となり健康福祉常任委員長として、観覧いたしました。

7月12日 子育て環境充実調査特別委員会

子育て環境充実調査特別委員会では、昨年9月から「子どもの貧困について」「ヤングケアラー支援について」の2つの柱をテーマに、11人の委員の方々と共に関連な話し合いを行いました。国においても施策が進んできており、まさに走りながらの論議でした。

コロナ禍もあり、議会の場を出ての現地調査はかないままでしたが、その道のフロントランナーである児童

館等現場で働いていらっしゃる方、支援組織の方、先進自治体として取り組みをなさっている行政の方に、リモート参加も含めて3名の方からお話を聞くことができ、大きな示唆をいただきました。仙台市担当課とも課題や情報を共有し、報告書をまとめています。



子育て環境充実調査特別委員会では副委員長をつとめました

皆さんの声を聴いて、市政へ!



7月13日 大雨などによる 避難所開設を調査



前日夜から活発な雨雲がかり、土砂災害の危険性が高まったとして、13日昼には仙台市青葉区などで土砂災害警戒レベル4の「避難指示」が発表されました。最大時には市内156か所の小中学校や市民センターなどに避難所の開設がなされました。

青葉区の3つの避難所開設の状況を調査し、避難者がいらっしやる場所、ゼロのところそれぞれでしたが、職員や教員のみならず、地域の防災担当の方々、また巡回された地域包括支援センターの方から話を聞きました。その後も、大雨などによる避難所開設もなされています。あらためてご尽力くださった皆様に感謝いたします。

地域の要望で改善されました(ごみ集積所)6月

ごみ集積所(上杉3丁目)でのカラス等の被害の対応がなされました。

(仙台市では家庭ごみ集積所の用具(「(通称)ハンサムネット」=飛散防止・鳥獣対策用としてごみ集積所で使用するネット)など改善の支援をしています。詳しくは青葉環境事業所022-277-5300にお問い合わせください)

before



after



ひぐちのりこ 主な活動日誌

- | | | | |
|-------|----------------------------|-------|--|
| 4月7日 | 環境過敏症についての研修 | 5月14日 | 仙台・青葉まつり |
| 4月16日 | 夜間中学校に関する講演会 | 5月20日 | 健康福祉常任委員会 |
| 4月21日 | 健康福祉常任委員会 | 5月26日 | 国際シンポジウム「ジェンダー平等と持続可能な未来」 |
| 4月22日 | 議会ICT化推進検討会議 | 5月28日 | フェミニスト議員連盟総会 |
| 4月26日 | 子育て環境充実調査特別委員会 | 6月2日 | 議会運営委員会 |
| 5月3日 | 5.3憲法を活かす宮城県民集会 | 6月19日 | ジェンダーの切り口から労働・貧困を考える
~「生理の貧困」と「更年期離職」の現場から~ |
| 5月8日 | 仙台国際ハーフマラソン | 7月6日 | みやぎアビール大行動要望書提出 |
| 5月9日 | 女性差別撤廃条約実現
アクションキックオフ集会 | 7月21日 | 健康福祉常任委員会 |

●●●ここからの主な予定●●●

- | | | | |
|-------|----------------|--------|-------------|
| 7月27日 | 仙台市国民健康保険運営協議会 | 8月29日 | 議会運営委員会 |
| 8月4日 | 議会ICT化推進検討会議 | 9月5日 | 仙台市議会第3回定例会 |
| 8月19日 | 健康福祉常任委員会 | ~10月6日 | |

お願い 「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたらあわせてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。